

事業所名

Passoくらぶ

支援プログラム

作成日

令和 7 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		社会の課題に向きあい、地域の「自律性」と「つながり」を強めて、人と地域の活力を高める。 誰もが「居場所と活躍の場」を持ち幸福を感じられる社会の仕組みを築くことを目指す。		
支援方針		・利用者の自立に向けて日常生活、社会生活に必要な能力を高めるための支援を行う。 ・利用者に学びと成長の機会を提供し、インクルージョン（包摂）を推進する中で地域社会への参加を支援する。 ・利用者の家族や学校等の関係機関と連携して安定して地域での生活ができるよう支援を行う。		
営業時間		9 時 30 分から 18 時 15 分まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	食生活、生活リズム、体調管理、金銭管理について学ぶ。余暇活動や遊びなどを通じて、挑戦・失敗、興味関心の発見等の情緒な体験機会を持つ。 ・健康チェック、体調確認 ・ソーシャルスキルトレーニング（生活にかかるいろいろなお金、お金の管理、商品が棚に並ぶまで、防災について） ・イベント活動（校外学習、調理実習、外食訓練、季節のイベント、レクリエーション、目標・避難訓練）		
	運動・感覚	活動に必要な身体の動きや五感など感覚の活用を身につける。 ・イベント活動（校外学習、調理実習、外食訓練、季節のイベント、レクリエーション、目標・避難訓練）		
	認知・行動	作業・情報処理を通じて認知機能を向上する。認知特性について見立てを深めて支援方法について検討し、必要な対処法の習得につなげる。 集団行動やコミュニケーションを通じて、場に合わせた物事の捉え方、会話と行動について学習する。 ・パソコン（文字入力、Word・Excel・PowerPointの基礎、図形の使い方、カレンダー制作、ドット絵、プログラミングの練習、ネット検索、情報モラル、パソコン資格学習） ・OAワーク・作業体験（見取り算、検索修正、交通手段、電卓、ホームポジション、段ボールの袋入れ練習、物品の袋詰め練習） ・イベント活動（校外学習、調理実習、外食訓練、季節のイベント、レクリエーション、目標・避難訓練）		
	言語 コミュニケーション	言葉の理解を深めて言語化能力を高め、PC等の情報端末を利用した言語の処理やコミュニケーションについて理解を深める。 言葉の理解を深め、対話と応答などコミュニケーション能力を向上する。 ・ソーシャルスキルトレーニング（道具の使い方、漢字の成り立ち、音読練習、メモの取り方、日報の書き方、挨拶、表情、相手の人はどんな気持ち、気持ちの切り替え方、ルールとマナー、ゴーサインNOゴーサイン、リフレーミング、季節の注意点、距離感、SNSの使い方） ・パソコン（文字入力、Word・Excel・PowerPointの基礎、図形の使い方、カレンダー制作、ドット絵、プログラミングの練習、ネット検索、情報モラル、パソコン資格学習）		
	人間関係 社会性	人間関係に必要なマナーを身につけ、社会理解を深めて社会性を向上する。 集団での主体的な活動、地域交流を通じて社会性を高める。 ・ソーシャルスキルトレーニング（挨拶、表情、相手の人はどんな気持ち、気持ちの切り替え方、ルールとマナー、ゴーサインNOゴーサイン、リフレーミング、季節の注意点、距離感、SNSの使い方） ・イベント活動（校外学習、調理実習、外食訓練、季節のイベント、レクリエーション、目標・避難訓練）		
家族支援		・連絡帳の活用等を通じて、事業所での様子について家族との情報共有を進める。 利用者の課題に対し、事業所と家族が協力して取り組むために個別面談を行う。 ・利用者の医療・福祉・生活に関わる相談、利用者の援助方法について助言・共有を必要に応じて行う。	移行支援	・将来の進学、就労等の移行を想定して5領域を意識した本人支援を行う。 課題を抽出して事業所内で支援を継続し、保護者や学校とも課題の共有を行って将来的な移行に向けた準備を支援する。 ・行事や外出活動を通じて地域社会への参加や成長の機会を持てるよう支援を行う。
地域支援・地域連携		・学校等との連携を図り、必要に応じて利用者の状態と課題・学習内容・支援の方法・支援ニーズ等の共有を行い、事業所内での支援を行う。 ・障害児相談支援事業所等との連携を図り、支援の方向性の確認や福祉サービスの利用状況の共有を進め、地域生活に必要な支援を行う。	職員の質の向上	定期的に法人内研修・事業所内研修を行い、制度の支援技法の理解を深める中で職員の資質向上に取り組む。
主な行事等		お楽しみ会・避難訓練（毎月）、お出かけ・社会見学・外部講師セミナー（随時） 初詣（1月）、節分（2月）、卒業式（3月）、クリスマスパーティ（12月）		